

地域密着型金融の取組み状況(19年4月～20年3月)

(金融機関名 幡多信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (1) 創業・新事業支援
2. タイトル	新規の農業法人に対する資金面での支援
3. 動機(経緯)	町おこし活動メンバー5名(起業5名～苺農家、JA職員2人、タバコ栽培農家2人)が、過疎地の大月町をアピールすべく、地元で評判の高い冷菓商品「まるごといちごかき氷」を地域産品と位置づけて売出、地域活性化を図る。
4. 取組み内容	当該法人代表者が法人起業以前に個人経営していたハウス栽培の苺を使い商品化した冷菓商品「いちごおり」は、平成18年に大月町の道の駅で委託販売を開始。その後、当該商品の町内外での高い評判により、町おこし活動メンバー5名が平成20年1月に農業法人を起業する。どこにもない「かき氷」として、各地域(近隣市町村、高知市、九州等)のイベントへ参加しながら、知名度を広め、販売代理店の開拓の取組みを行う。 当金庫は、起業家5名を人的担保とし、起業資金として資本金、苺ハウス建設費用、苗代等、当面の運転資金の支援を行う。
5. 成果(効果)	当該法人の事業取組みで冷菓商品販売店(販売代理店～高知、福岡、長崎、岡山、沖縄)20先と契約し、当初計画売上高(43百万円)の計上を見込む。現在のところ、順調に販売代理店を確保してきている。
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	顧客のニーズに合った新商品の開発と継続的な販路の確保と拡大が課題。 本事業については、過疎地域活性化の取組みであり、当金庫として今後も資金面で協力して行く方針である。
7. 添付資料	
8. 備考	詳しくは、苺氷り本舗株式会社 http://www.ichigoori.com

地域密着型金融の取組み状況(19年4月～20年3月)

(金融機関名 幡多信用金庫)

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 (1) 担保・保証に適度に依存しない融資等への取組み。
2. タイトル	地域活性化支援プラン「ステップアップローン」
3. 動機(経緯)	地域経済支援強化を図るべく、担保・保証に依存しない新型貸出金「ステップアップローン」を販売
4. 取組み内容	目標額 20億円(期間 19.10.1～20.3.31) 円滑な資金供給による地域活性化に寄与する。
5. 成果(効果)	取扱実績 21件、150百万円 当地域は長引く不況から脱しきれず、当金庫の取引先中小企業を含め、地域の中小企業において体力の消耗の現れで資金需要の低迷が目標額を大きく下回った要因である。
6. 20年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	目利き能力を活用した、担保・保証に過度に依存しない融資の推進により中小企業金融の円滑化を図る。 地域の利用者のニーズ、相談業務に対応できる各種事業の知識を有する人材育成と活用、及び地域中小企業の不況からの脱却と活性化支援の継続的な取組み。
7. 添付資料	
8. 備考	